

【会 報】

日本熱測定学会第21回通常総会

日時：1995年10月3日（火）

会場：名古屋大学（第31回熱測定討論会会場）

総会の成立

総会出席者は委任状（280通）を含め337名、正会員・学生会員総数（827名）4分の1を越えるので、第22回通常総会は会則第17条により成立した。

議題：

1. 1995年度事業報告承認の件
2. 1995年度収支決算（中間）承認の件
3. 1996年度役員の内
4. 1996年度事業計画決議の件
5. 1996年度予算決議の件
6. その他

について審議し、それぞれ承認、決議された。ただし2. 1995年度収支決算については、1995年8月31日までの中間報告の承認であり、会期末（9月30日）までの収支決算を1996年度第2回幹事会の議決に委ねることを承認した。したがって、第2回幹事会の承認事項を含めて報告する。

1. 1995年度事業報告（1994.10.1～1995.9.30）

① 会員状況

	94.10.1	入会者	退会者	95.9.30
正会員	858	50	81	827
学生会員	34	16	1	49
維持会員	36 (69)	4 (4)	1 (1)	39 (72)

( ) 内は維持会員口数

② 集関係

- 1) 委員会 1回（大阪 1回）、幹事会 4回（大阪 1回、東京 3回）、庶務幹事会 3回（東京 3回）、会計幹事会 1回（東京 1回）、編集委員会 3回（大阪 3回）、小委員会（選挙、東京1回）

- 2) 第30回記念熱測定討論会（1994.10.31～11.2、大阪千里ライフサイエンスセンター）

発表件数	口頭発表	81件
	ポスターセッション	30件
	特別講演	7件

参加者 259名

記念論文集の発行

- 3) 第21回通常総会（1994.11.1、大阪千里ライフサイエンスセンター）

熱測定 Vol.22, No.1（1995）59 参照

- 4) 第31回熱測定討論会運営委員会（1995.7、名古屋）
- 5) 第29回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」（1995.1.18～20、東京）参加者 75名
- 6) 第30回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」（1995.7.11～13、京都）参加者 58名
- 7) 第18回熱測定ワークショップ「Dynamic DSCの有特性と問題点を探る」（1994.12.5、東京）参加者 110名
- 8) 第19回熱測定ワークショップ「高温化学熱力学の本格的展開を目指して」（1995.3.18、東京）参加者 50名
- 9) 講演会「中性子散乱と熱測定」（1994.10.17、大阪）参加者 50名

③ 共催・協賛関係

共 催：第39回粘土科学討論会（主催：日本粘土学会、1995.9.28～30、高知）

協 賛：第15回日本熱物性シンポジウム（主催：日本熱物性学会、1994.10.18～20、富山）

：ジェランと関連多糖類に関する国際ワークショップ、IWGRP（主催：ジェラン共同研究グループ、1994.11.14～15、大阪）

第4回基礎研究の振興と工学教育シンポジウム（主催：日本工学会、1994.12.19、東京）

：金属学会シンポジウム「半導体材料製造プロセスの高温物理化学」（主催：日本金属学会、1995.1.12、名古屋）

：金属学会セミナー「材料創出の熱力学」（主催：日本金属学会、1995.1.23～24、東京）

：第6回食品ハイドロコロイドシンポジウム（主催：食品ハイドロコロイド研究会、1995.6.9、大阪）

：電気学会東京支部講習会「発生気体分析による高分子絶縁材料の短時間寿命評価法」（主催：電気学会ほか、1995.7.7、東京）

：金属学会シンポジウム「材料科学における相変態の数値」（主催：日本金属学会、1995.8.4、千葉）

：金属学会セミナー「ナノ・メゾ組織制御と高機能材料開発」（主催：日本金属学会、1995.9.21～22、東京）

：第4回アジア熱物性会議 ATPC'95（主催：第4回アジア熱物性会議実行委員会、1995.9.5～8、東京）

後 援：第7回中四国科学機器展、第3回計測・制御・検査機器展（主催：中四国科学機器協会ほか、1995.6.15～17、広島）

④ 出版関係

1) 会誌「熱測定」の編集・発行（Vol.21, No.4は1,250部、Vol.22, No.1からNo.3は1,200部）

Vol.21, No.4 52頁

Vol.22, No.1からNo.3は 198頁 計 250頁

内容：巻頭言 1, 論文 8, ノート 1, 総合論文 2, 解説 7, 資料 1, トピックス 5, 熱測定応用研究の頁 3, その他 レポート, 会報, 追悼文, 日本学会会議だより, 国際会議のお知らせ など  
 会員名簿 1,500部

⑤ グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ (主査：前園明一)  
 会合2回 (大阪 2回), 会誌「熱測定応用研究の頁」に協力, 「応用熱測定・見学/講義の会」(1994.11.16, 大阪)
- 2) 熱力学データベース作業グループ (主査：山内 繁), (サブグループ 分圧制御ソフト開発作業グループ, 世話人 協原将孝)

⑥ 国際協力

- 1) 国際学術団体 (IUPAC, ICTAC, CODATA) との協力など  
 IUPAC：松尾隆祐 (阪大理) I.2 化学熱力学委員会  
 Associated member  
 ICTAC：学会として加盟  
 小沢丈夫 (ダイセル化学工業) 会長  
 十時 稔 (東レリサーチセンター) 評議員  
 CODATA：山内 繁 (国立リハビリセンター)
- 2) IUPAC 国際化学熱力学会議 (1996年) ICCT-96 の日本開催準備  
 (1996.8.25～30, 大阪 千里ライフサイエンスセンター)

⑦ 会則の改正

第6章 役員 第19条・第21条・第25条・第26条  
 (熱測定 Vol.22, No.1, p.61) 参照

⑧ 学会マーク

学会マークの募集, 決定  
 (熱測定 Vol.22, No.3 会告) 参照

2. 1995年度収支決算 (1994.10.1～1995.9.30)

項 目	単位 円	
	決 算 額	予 算 額
収 入	10,148,229	10,672,000
(1) 会費収入	5,101,000	5,820,000
正会員会費	3,694,000	4,350,000
学生会費	99,000	90,000
維持会員会費	1,308,000	1,380,000
(2) 事業収入	4,688,077	4,350,000
1. 会誌発行収入	2,340,827	2,400,000
広告料	1,470,582	
別刷収入	576,901	
購読料	293,344	
2. 30回討論会収入	565,479	200,000
3. 29, 30回講習会収入	1,781,771	1,750,000
(3) 名簿発行分 (前期繰越金より)	300,000	300,000
(4) 雑収入	59,152	202,000
支 出	10,764,177	10,672,000
(1) 事業費	6,532,218	6,400,000
1. 会誌発行費	4,961,604	4,750,000
印刷代 (会誌4冊)	3,703,838	
別刷代	432,130	
原稿料	350,813	
発送費 (封筒含む)	474,823	
2. 名簿製作費	998,688	1,000,000
3. 研究グループ	123,660	80,000
4. ワークショップ・講演会	228,266	300,000
5. 31回討論会準備金	200,000	200,000
6. 国際協力費	20,000	20,000
7. 予 備 費	0	50,000
(2) 管 理 費	4,231,959	4,272,000
1. 会 議 費	366,586	300,000
2. 交 通 費	693,490	900,000
3. 事 務 局 費	2,472,000	2,472,000
4. 通 信 費	358,025	300,000
5. 消 耗 品 費	237,143	250,000
6. 雑 費	104,715	50,000
差引残高	△615,948	
前期繰越剰余金	2,013,069	
名簿発行分として	300,000	
次期繰越剰余金	1,097,121	
1995年度特別会計		
熱測定特別基金	6,023,164	
(立て替え中)	△1,500,000	
	4,523,164	

3. 1996年度役員 (1995.10.1～1996.9.30)

- 印 1996年度・1997年度役員
- 会 長 ○村上幸夫 (阪市大理)
- 委 員 阿竹 徹 (東工大材研)  
伊佐公男 (福井大教育)  
稲場秀明 (川崎製鐵)  
上平初穂 (生命工研)
- 小椋理子 (ソニー湘北短大)  
小川英生 (東京電機大理工)  
沖野孝之 (島津製作所)  
神本正行 (電総研)
- 川路 均 (広大工)  
木下良一 (セイコー電子工業)
- 木村隆良 (近畿大理工)  
猿山靖夫 (京都工織大繊維)  
高崎洋一 (真空理工)  
高橋一好 (マック・サイエンス)
- 高橋克忠 (大阪府立大農)  
田中春彦 (広島大学校教育)  
辻 利秀 (名大工)
- 寺山清志 (富山大工)
- 長尾眞彦 (岡山大理)
- 長野八久 (阪大理)
- 中村茂夫 (神奈川大工)  
中村利寿 (東京理工)  
橋本寿正 (東工大工)  
八田一郎 (名大工)
- 広瀬重雄 (物質工研)  
藤田幸久 (兵庫医大)
- 前田幸治 (宮崎大工)  
馬越 淳 (農生資)  
桃田道彦 (理学電機)  
山村雅一 (東海大医)
- 横林洋子 (東北大理)
- 会計監査 菅 宏 (近畿大理工)
- 幹 事 阿竹 徹 (編集, 東工大材研)
- 小椋理子 (会計, ソニー湘北短大)  
小川英生 (庶務, 東京電機大理工)
- 川路 均 (企画, 広大工)
- 木村隆良 (庶務, 近畿大理工)  
猿山靖夫 (企画, 京都工織大繊維)
- 高橋克忠 (編集, 大阪府立大農)  
辻 利秀 (企画, 名大工)  
橋本寿正 (企画, 東工大工)  
山村雅一 (会計, 東海大医)

- 編集委員 ○阿竹 徹 (東工大材研)「低温熱測定」  
幹事, 委員長
- 高橋克忠 (大阪府立大農)「生物」幹事
- 齋藤一弥 (都立大理)「分子結晶」
- 酒井夏子 (物質研)「高温熱測定」
- 中村邦雄 (大妻女大家政)「高分子」
- 日野出洋文 (東工大工)「無機材料」
- 山崎淳司 (早大理工)「鋳物」

地域編集委員

- 北 海 道 ○土田 猛 (北大工)
- 東 北 ○板垣己未生 (東北大素材研)
- 北 陸 ○増田芳男 (新潟大理)
- 中 部 ○松井恒雄 (名大工)
- 中 国 ○溝田忠人 (山口大工)
- 四 国 ○武田 清 (鳴門教育大)
- 九 州 ○安芸初美 (福岡大薬)

4. 1996年度事業計画 (1995.10.1～1996.9.30)

- ① 集会関係
- 1) 委員会 2回 (名古屋 1回, 東京 1回), 幹事会 4回 (名古屋 1回, 東京 3回), 庶務幹事会 3回 (東京 3回), 編集委員会 4回 (東京 4回)
  - 2) 熱力学応用研究グループ会合 2回, 熱力学データベース作業グループ, 分圧ソフト開発作業グループ
  - 3) 第31回熱測定討論会 (1995.10.2～4, 名古屋大学)
  - 4) 第32回熱測定討論会運営委員会 1回 (1996.6, 予定)  
第32回熱測定討論会は日本熱物性学会とのJoint Meetingとして1996.11.27～29, つくば (世話人 神本正行)で開催予定
  - 5) 第22回通常総会 (1995.10.3, 名古屋大学)
  - 6) 第31回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1996.1.22～24, 東京)
  - 7) 第32回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」(1996.7, 京都)
  - 8) 第20回熱測定ワークショップ「高分子熱分析の未来展望」(1995.11.10, 東京)
  - 9) 第21回熱測定ワークショップ「生体分子, 細胞, 動物の状態と機能を探る」(1995.12.5, 東京)
  - 10) 第22回熱測定ワークショップ「品質保証と熱測定」(1996.1.25, 東京)
  - 11) 第23回および第24回熱測定ワークショップ  
テーマ・オーガナイザー募集
  - 12) 講演会「Prof. V. Balek 講演会 (1995.11.16, つくば)」

② 共催・協賛関係

共 催：第16回日本熱物性シンポジウム（主催：日本熱物性学会，1995.11.7～9，広島）

協 賛：界面の分子設計—科学と産業のキーテクノロジー（主催：日本学会会議材料工学・金属工学研連，1995.11.14，東京）  
：X線発見100年記念シンポジウム「21世紀をめざすX線結晶学」（主催：日本結晶学会ほか，1995.12.9，東京）

③ 出版関係

1) 会誌「熱測定」の発行（Vol.22, No.4は1,250部，Vol.23, No.1からNo.3は1,200部）

④ グループ活動

1) 熱測定応用研究グループ  
主査：中村邦雄（大妻女子大）に交代，前年度に準ずる  
「応用熱分析」の出版  
2) 熱力学データベース作業グループ  
前年度に準ずる

⑤ 国際協力

1) 活動は前年度に準ずる

5. 1996年度予算（1995.10.1～1996.9.30）

項 目	
収 入	9,850,000
(1) 会費収入	5,750,000
正会員会費（840名）	4,200,000
学生会費（50名）	150,000
維持会員会費（70口）	1,400,000
(2) 事業収入	4,000,000
会誌発行収入	2,300,000
31回討論会収入	200,000
31, 32回講習会収入	1,500,000
(3) 雑収入	100,000
支 出	9,850,000
(1) 事業費	5,110,000
会誌発行費	4,460,000
研究グループ	80,000
ワークショップ講演会	300,000
32回討論会準備金	200,000
国際協力費	20,000
予 備 費	50,000
(2) 管 理 費	4,222,222
会 議 費	300,000
交 通 費	900,000
事 務 局 費	2,472,000
通 信 費	250,000
消 耗 品 費	250,000
雑 費	50,000
(3) 予備費	518,000
差引残高	0

6. その他

- 1) IUPAC国際化学熱力学会議（ICCT-96，1996.8.25～30，大阪）の学会としての取り組み
- 2) 第4回国際および日中合同熱測定シンポジウム（1999年）への学会としての取り組み